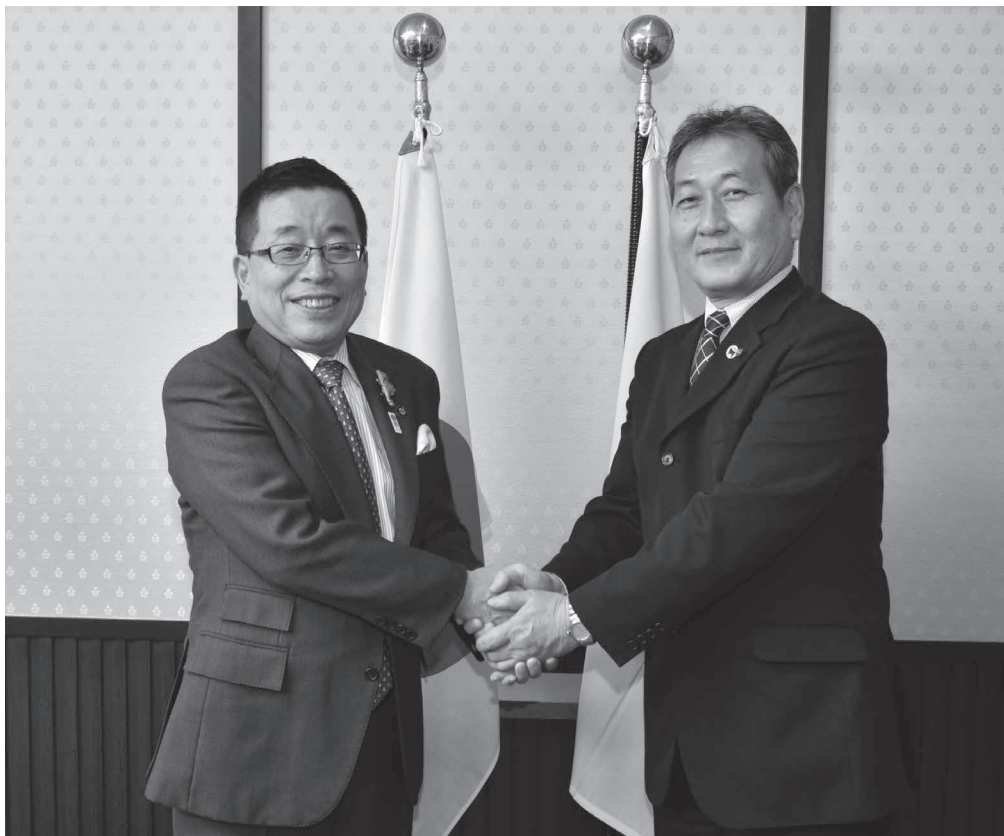


新春対談

市長と議長 高山市を語る

1月1日から8日まで放送されたケーブルテレビの市政情報番組「ハイ、市役所です」で、國島市長と水門議長が対談されました。その内容を紹介します。



くにしま みちひろ 市長 國島芳明

昭和25年1月15日生まれの67歳
平成22年9月に第10代高山市長に就任（2期目）

すいもん よしあき 議長 水門義昭

昭和33年11月23日生まれの58歳
平成28年5月に第83代高山市議会議長に就任

平成28年を振り返る

―まず、昨年一年間を振り返ってください。

市長 驚きとお祝いの一年でしたね。まず、市制施行80周年の年でしたが、それに伴い市民の皆さまがさまざまな事業を自主的に実施されました。また、4月には日本遺産の認定、12月にはユネスコ無形文化遺産の登録決定がありました。それらに注がれてきた市民の皆さまの今までのご努力も報われた画期的な年だったと思います。

議長 私は3つありますが、一つ目は歴史と伝統ある高山市議会の第83代の議長に5月に就任させていただきました。これは市民の皆さまをはじめ同僚議員のご支援のおかげで、大変な重責を任された年でした。二つ目は、高山市を引っ張ってきた大切な方との別れもあった年でした。お亡くなりになられたことが残念であり、今までのご功績に感謝いたしております。三つ目は市制施行80周年です。さまざまな行事がございましたが、NHKのど自慢や外国人による日本語弁論大会など、（高円宮妃とご一緒に食事をとらせていただきましたが）さまざまな行事や人との出会いで私自身も勉強をさせていただいた一年でした。

―「高山祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産の登録決定について、もう



▲登録決定の連絡を受け喜び関係者のみなさん（12月1日午前2時過ぎ）

少しお聞きしたいのですが、当日を振り返られていかがだったでしょうか。

市長 関係者の皆さまと11月30日の夕方から登録決定の報告を待っていたわけですが、審査に時間を要して「今夜は無理かな」と思っていたところ、日付が変わって12月1日の午前2時前に、審議の順番が変更となり、突然「山・鈴・屋台行事」とネット中継のパソコンから音声で響きまして。あれは驚きました。そこで議長にも駆けつけていただき、みんなでお祝いをしました。

議長 ええ。あの日は仕切り直しになったので、帰宅して一度寝たんですが2時に電話がかかり急いで駆け